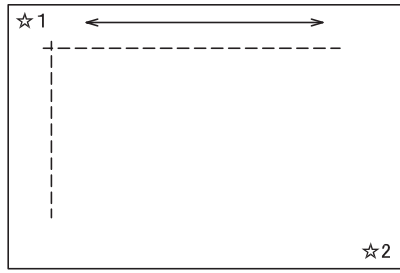


# 施工手順

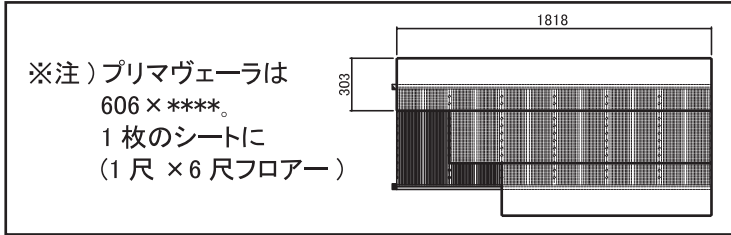
## ①フロア方向、貼り始めの確認

貼り始めの位置は☆1 または ☆2 です。コントローラの位置に合わせて、穴あけ及び下地の座彫り位置を決めてください。



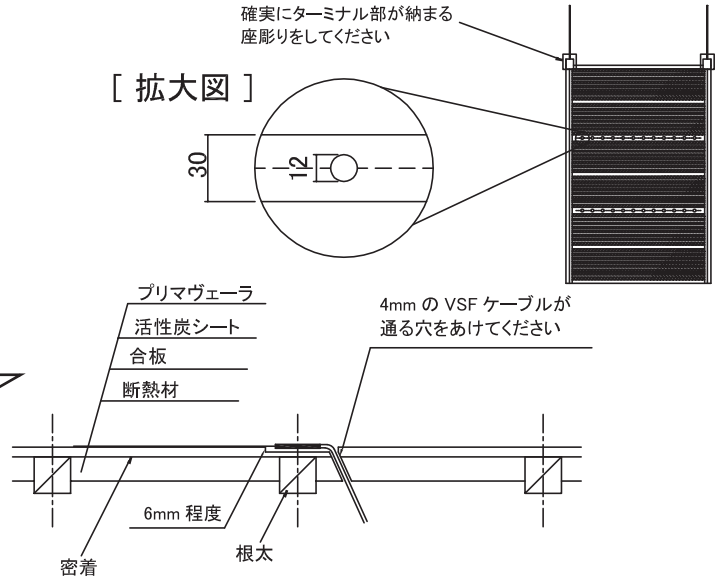
## ②プリマヴェーラ 敷設位置の墨出し

図中の点線部分が墨出し部分です。



## ③下地の座彫りと穴あけ

プリマヴェーラを仮置きしてから穴をあける部分の墨打ちを行ってください。

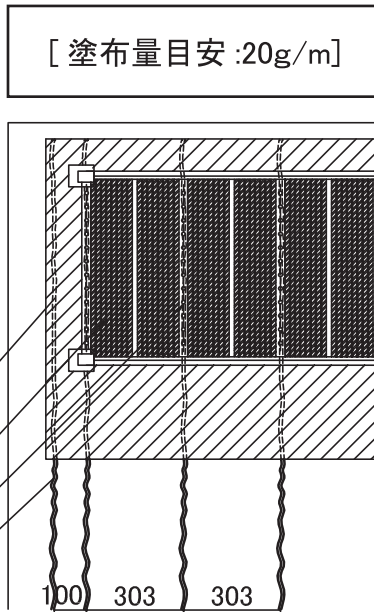


## ④活性炭シートの敷設

活性炭シートの敷設には、接着剤 (コニシ KU928C-X 同等性能品) をご使用ください。接着剤は、下地へ 303mm ピッチで塗布してください。その際、座彫りの箇所へは接着剤を塗布しないようご注意ください。

※塗布後、ヘラ等で接着剤を伸ばしてください。(不陸防止の為)

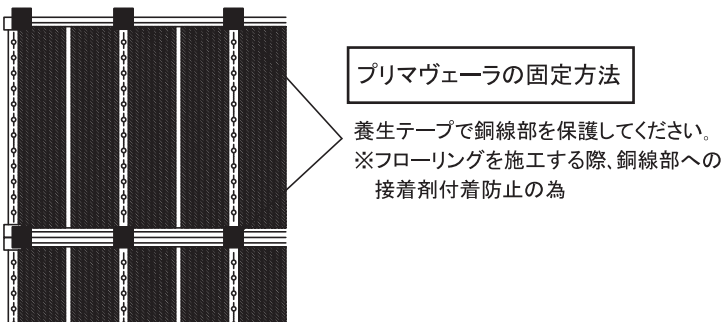
※接着剤を伸ばしてから、活性炭シートを敷設してください。その際、活性炭シートは、プリマヴェーラ敷設部分より 100mm 程度広く敷設してください。



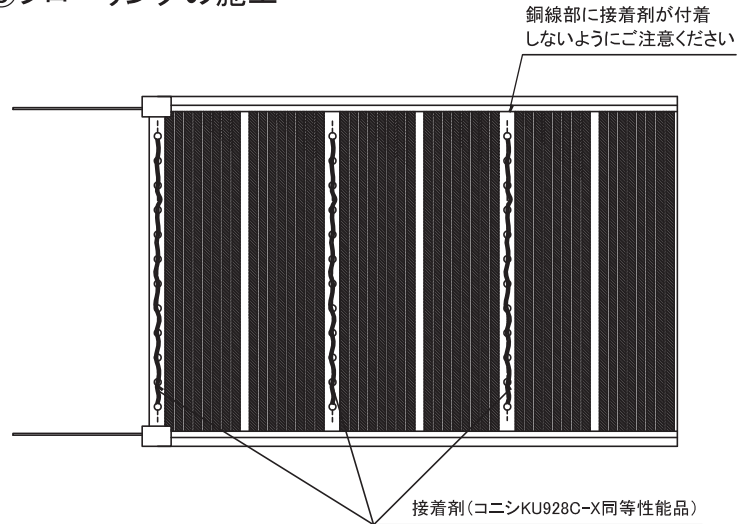
## ⑤プリマヴェーラの敷設

活性炭シートを敷設後、プリマヴェーラを、穴あき部分を下地へ塗布した接着剤の位置に合わせて敷設してください。(接着剤の使用なし)

※「④活性炭シートの敷設」図をご参照ください。



## ⑥フローリングの施工



フローリングを施工する際に、ステーブルもしくは釘と接着剤 (コニシ KU928C-X 同等性能品) を併用することができます。接着剤は、釘打ち可能ラインに線状に塗布してください。その際、銅線部に接着剤が付着しないようご注意ください。

フローリングを嵌合し、ステーブル・釘で固定してください。  
※接着剤は、接着剤記載の使用説明をご確認の上、正しくお使いください。



### 通電について

通電は接着剤が乾いてから行ってください。  
(夏場は 2 ~ 3 日、冬場は 5 日以上)  
接着剤が固まる前に電気を通して熱を加えたりすると、床鳴り他問題が発生する可能性があります。  
床暖房部分の歩行は施工翌日からにしてください。